

企業の森活動が定着・次のステージへ

1 はじめに

胆江地区は、県内でも企業の森活動が活発に行われてきた地区の一つです。

近年は、企業と森林所有者等との協定締結期間が満了した後も、期間を延長し活動を継続いただいております。地域における取組が定着しています。

(株)デンソー岩手(H22年度開始・金ケ崎町)、東京エレクトロン東北(株)(H23年度開始・奥州市)による企業の森活動は、今年度までにそれぞれ協定を再締結し、活動期間が延長されました。

この他当地区では、いわて生活協同組合(滝沢市)やホームック(株)(札幌市)による活動が行われています。

2 (株)デンソー岩手の取組

(株)デンソー岩手は、平成27年1月に県南局との間で協定を再締結し、協定期間が32年3月まで延長されました。

5月22日には、千貫石森林公園内の「イーハトーブ星降る森」と名付けられたスギ林を会場に、社員とその家族約50名が参加し、楽しみながらスギの枝打ち作業を行いました。



【枝打作業】

3 東京エレクトロン東北(株)の取組

東京エレクトロン東北(株)は、平成28年5月に奥州市と県南局との間で協定を再締結し、協定期間が38年3月まで延長されました。

6月11日には、新たな協定に基づき、奥州市江刺区内の奥州市有林で、社員とその家族約260名が参加し植樹活動を実施しました。当日は、夏を思わせる青空の下、急斜面と固い植栽地に四苦八苦しながらコナラ等700本の植栽を行いました。



【植樹の様子】

4 いわて生活協同組合の取組

いわて生協は、奥州市前沢区の小学生が植樹したイロハモミジについて、森林整備活動を継承し下刈を行っています。

7月9日には、生母生産森林組合の植栽地において、組合員等関係者約90名が参加し下刈を行いました。当日はあいにくの雨でしたが、組合員は雨具を着ながら作業に汗を流しました。

5 おわりに

企業の森活動は、一般県民の方々に森林・林業をPRする絶好の機会となっており、県南局では、今後とも企業の森活動の支援に継続して取り組んでいくこととしています。